



暴落なし、不況なし、、、好況目前！

、、という人は世界で私、増田以外にはいない！

「でたらめを言うな」と言う声が聞こえてくるようである。

1998年1月8日、新宿・ヒルトン東京での船井総研コスモスクラブで20分間だけ話す機会を頂いたのは丁度ドル・円が今日のように135円でまだ170円まで下がると言われていた時だった。

私はみんなの関心を引くために、「円は本年10月上旬に110円になる」と言いきり、「もしならなかったら皆様の前で切腹する」と言った。

「でたらめを言うな」、「切腹するなど本気で言っているのか」という声が聞こえた。

10月1日になってもまだ円は130円だったので誰もが私の予想は外れたと思って、「どうせ人騒がせをしたかっただけだろう」と言う電話が来たり散々だった。

ところが10月3日から円は突如急騰し、10月10日には111円、翌日110円になった。

円高になる確固たる理由がなかったらいくら私でも切腹など口にしない。

アメリカ経済を経済成長、物価(インフレ)、経済ファンダメンタルズなど目に見える要因ばかり見ていると誰でも不況に陥ると思う。

川面の動きは川底のうねりで決まるように、経済を動かす「目に見えない力」を知らねば経済の先行きはわからない。

はっきり申し上げておく。

本年10月からアメリカを皮切りに、世界は未曾有の好況へ向かう！

好況を保証する核心的理由と、外堀とも言える政治、経済的背景がある！

それを出来るだけ早く、遅過ぎにならないようにお知らせする所存である。

価値のない情報はどこにでもあり、誰でも得られ、何の役にも立たない。

価値ある情報はなかなか見つからない上に高価である。

“Knock, and the door will be open”(叩けよ、さらば戸は開かれん-キリスト)

チャンスも儲けも待っていたのでは手に入らない。

思い切って掴むことだ！

しかしそれには小金(?)がかかる。

一体8月15日に何が起きるのか？

もうじきドルがモノを言わなくなる。

では何がモノを言うのか？

世界は東西に分断、刻一刻と第三次世界大戦が現実味を帯びてきた。

乗り過ぎた車のように、経済のオーバーホールが必須である。

こうした乱世で、目に見えない価値ある情報を知ることが出来る増田一家(増田塾受講者)だけが巨万の富を我が物にすることが出来る！

増田俊男の「インターネット国際政経塾」(増田塾)にご参加することは正に、“Knock the door”である。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。